

2021年3月25日

地方独立行政法人 栃木県立がんセンター

第2期中期計画を策定しました

〔令和3(2021)年4月1日～令和8(2026)年3月31日〕

第2期中期計画では、医療の質とその提供体制を維持しつつ、がんゲノム医療や希少がん治療の進展など、より高度で専門的な医療の提供を目指します。

さらに、県民に最新のがん医療を提供するため、大学や研究機関で研究開発された新しいがん医療を積極的に取り入れます。

また、医療環境の変化に迅速に対応し、一層の経営健全化に努めます。

この計画のもと、職員全員が経営参画意識の向上を図りながら共通の方向性を持って業務に当たり、一体感のある病院運営を行い、県民から一番頼りにされる病院を目指します。

《 主な内容 》

1 中期計画の期間 令和3(2021)年4月1日～令和8(2026)年3月31日(5年間)

2 県民に対して提供する医療サービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

○ 質の高い医療の提供

- ▷ 高度で専門的な医療の推進(がん患者の病態に応じた適切な治療の提供、希少がんに対する理解促進と適切な医療の提供、より高度ながんゲノム医療の提供 等)
- ▷ 緩和ケアの推進(入院・外来患者への継続したサポートの実施)
- ▷ がん患者リハビリテーションの推進(多様なリハビリテーション・ニーズへの対応)

○ 安全で安心な医療の提供

- ▷ 医療安全対策等の推進(医療事故の原因分析、再発防止策の検討等による事故防止の徹底)
- ▷ 医療機器等の安全管理の徹底(医療機器や医薬品をはじめ施設内全般の安全管理の徹底)

○ 患者・県民の視点に立った医療の提供

- ▷ 患者及びその家族への医療サービスの充実(ACP等、患者自らが望む医療・ケアを受けられるための支援 等)
- ▷ 患者の就労等に関する相談支援体制の充実(ライフステージごとの多様な支援ニーズに対応できる相談支援の充実 等)

○ 人材の確保と育成

- ▷ 医師の確保と資質向上(大学の医局や基幹病院等との関係強化 等)
- ▷ 働きやすい職場環境づくり(ハラスメント防止のための研修や意識啓発活動の実施、タスクシェア・シフティングの推進や女性職員に対する支援 等)

○ 地域連携の推進

- ▷ 地域の医療機関等との連携強化(地域の医療機関への対外活動の実施 等)

○ 地域医療への貢献

- ▷ 地域のがん医療の質の向上のための支援(都道府県がん診療連携拠点病院として県内のがん診療の質の向上等に関する中心的な役割を發揮 等)

3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

○ 業務運営体制の確立

- ▷ 効率的な組織体制の構築(効果的かつ効率的な業務運営体制の構築 等)
- ▷ 経営参画意識の向上(経営に関する情報の職員への周知 等)

○ 収入の確保及び費用の削減への取組

- ▷ 収入の確保への取組(効率的かつ柔軟な病棟管理による病床利用率の向上、診療報酬改定等に適切に対応できる体制の構築 等)
- ▷ 費用の削減への取組(医薬品、診療材料等の適切な管理と費用対効果を意識した業務改善への取組 等)

【 中期計画について 】(地方独立行政法人法第 26 条、第 83 条)

- 知事が定めた中期目標を達成するため、地方独立行政法人が知事の認可を受けて作成する計画
- 知事は、あらかじめ地方独立行政法人評価委員会の意見を聴くとともに、議会の議決を経て中期計画を認可する。

第2期中期計画の全文は、栃木県立がんセンターのホームページに掲載しております。

<http://www.tochigi-cc.jp/outline/10.html>



<お問い合わせ>

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13
地方独立行政法人栃木県立がんセンター
広報広聴センター 池田・佐藤
(電話番号)028-658-5151(代表)
(ホームページ)<https://www.tochigi-cc.jp>

